

国際交流学部国際交流学科 3 年

留学先:梨花女子大学(韓国)

留学期間:2024 年 3 月～2024 年 12 月

・留学を通して日本について新たに気づいたこと

人との距離感に違いを実感しました。日本は良い意味でも悪い意味でも人と人の間に距離感があると思います。親しき中にも礼儀ありといった言葉のようにその距離感は相手への配慮や尊重から来るものであり、過度に踏み込みすぎないことで安心感を与えます。その一方、時にそれが冷たさや孤立感を生む要因にもなり得ると感じます。留学先では大きく異なり、親しみやすさや積極的なコミュニケーションが印象的でした。

・語学力について

この一年間、韓国語と英語を学びながら基礎文法の勉強がいかに重要であるかを学びました。ある程度単語を覚えて言葉を発すると相手が単語から意図を汲み取って大体話を理解してくれるため話せるようになった気になってしまいます。しかし根本的な文法を理解できていないとある程度のレベルから成長できないことを実感しました。

・留学中に意欲的に取り組んだこと、その成果

常に何か新しいことに挑戦することを心掛けながら留学生活を送りました。具体的には、通訳のお手伝いをしたり、日韓青年未来会談に参加したり、韓国大使館側からのインタビューを受けるといった活動に参加しました。様々な活動をしていく中で自分と異なるバックグラウンドや文化を持つ人々との交流を通じて、物事を多角的に捉える視点も養われました。そういった友人たちとの出会いは、留学をしていなければ実現しなかったものであり、これからの人生においても重要な支えになると感じています。そして、このように多くの出会いを通じて得た刺激や学びは、自分自身の視野を広げ、留学という経験をさらに豊かなものにしてくれました。

